

ひがしいず 議会だより

2020 No.301

10月号

議会HPを
リニューアル
しました



【表紙】

細野高原からの朝日

- 財政指標「健全」も厳しい財政状況・・・2
- シェアオフィス改修整備へ・・・・・・・・・・3
- コロナ禍による影響調査・・・・・・・・・・14～15
- かがやくまちのひと・・・・・・・・・・16

令和2年度一般会計補正予算を可決 シェアオフィス改修整備へ

Pickup① シェアオフィス改修整備事業 1,790万円



シェアオフィス（旧東海汽船事務所）改修により交流定住促進を

コロナ緊急経済対策としてシェアオフィス（旧東海汽船事務所）の改修整備を行う

これまでの経緯

8/6開催の全員協議会にて担当課より事業の説明

8/6事業目標・計画の明確化と、屋上手すり等の工事見直しを求める要望書を町長へ提出

8/11開催の臨時会にて補正予算（事業費2,420万円）を否決

9/10開催の定例会にて見直し案が再度、上程され補正予算（事業費1,790万円）を可決

Pickup② 議案第52号東伊豆町の特定事務を取り扱う郵便局の指定

これまで本所、支所のみで扱っていた住民票発行、印鑑証明発行等を熱川郵便局に委託し、住民サービスを低下させずコスト削減が可能か検証するため実証実験を行う

討 論



反対です

熱川郵便局は利便性が悪い。また、個人情報を守られるのか。さらに、町長は支所廃止を令和4年度に方向修正したと認識している。ならば、郵便局へ委託の議論は1年先でよい。まず説明会をやってからやるべきです。

賛成です

財政を考えれば様々の合理化見直しは必要です。また、令和4年度廃止だから1年前で良いという反対では、令和4年度に支所廃止を前提に話を進めている。そもそも、熱川支所を閉鎖するというような町長の姿勢があっても議会が認めない限り廃止はできません。



Pickup③ 「議案第52号」に対する附帯決議

議案第52号は、町政上の課題である熱川支所の廃止を事実上認めたものではない。町民の利便性の向上につながるのか、一定期間の十分な検証を行うことを求める ※採決結果はP 8 参照



附帯決議

令和元年度決算を認定 財政指標「健全」も 厳しい財政状況

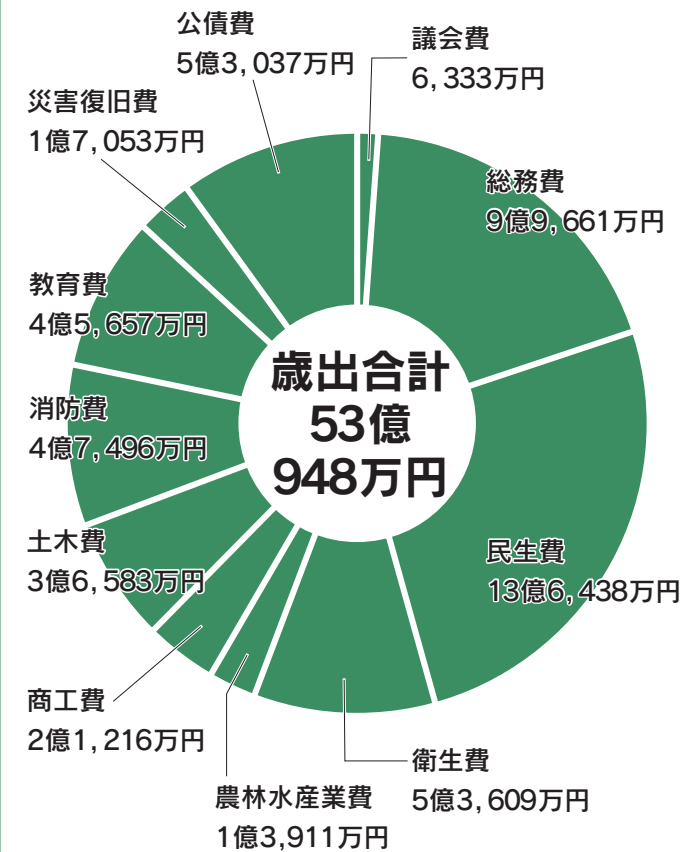
9 月 定例会

定例会のあらまし

Point

一般会計では歳入56億2,213万円、歳出53億948万円、差引3億1,264万円であった。次年度への繰越しを差引いた後の2億6千万円を財政調整基金に積み立てている。ただ、繰上げ償還金や基金の取り崩しを差引いた実質単年度収支ではマイナス2億1,864万円となっており**厳しい財政状況**が続いている。財政健全化法に基づく財政指標は一般会計・特別会計いずれも赤字がなく**「健全」**な数値であった。

一般会計決算



令和2年第3回定例会は9月7日から29日まで、23日間の日程で開かれ、令和元年度一般会計・特別会計の決算をはじめ、条例改正4件、補正予算7件などが提案され、審議の結果すべて原案とおり可決されました。なお一般会計・特別会計の決算は11名の議員で構成する決算審

査特別委員会に付託し審議されました。今議会はコロナウイルス感染防止の観点から当局の説明員も必要最小限としました。一般質問は一人1問のみ30分以内とし、8人の議員が登壇しました。（10ページ参照）

会計別決算額

会計の種類		歳入	歳出
特別会計	一般会計	56億2,213万円	53億948万円
	国民健康保険	17億9,995万円	17億7,989万円
	後期高齢者医療	1億8,988万円	1億8,911万円
	介護保険	13億6,661万円	13億2,303万円
	稲取財産区	66万円	61万円
	風力発電事業	1,913万円	1,760万円
	幼児教育アドバイザー共同設置事業	205万円	203万円
	水道事業	4億3,893万円	4億1,575万円

決算審査
特別委員会

意見を付して決算を認定 将来を見据えた

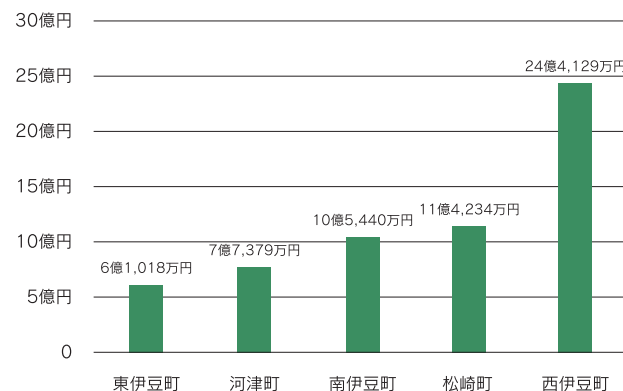
9月定例会で提出された令和元年度一般会計・特別会計の決算は、議選の監査委員を間に5日間にわたり審議されました。審議の結果、以下の意見が付され決算は認定され

提言1 財政運営の改善・見直しを

財政は、実質単年度収支では△2億1,864万円で、多額の基金を取り崩し運営する状況下にある。財政調整基金の積み増しに向けた財政の改善を行うこと。

令和元年度実質単年度収支 賀茂郡内での比較	
東伊豆町	△218,641千円
河津町	△118,180千円
南伊豆町	△38,933千円
松崎町	△82,300千円
西伊豆町	△520,090千円

※西伊豆町は6億円を債権運用に使用



賀茂郡下の財政調整基金残高（令和元年度）

提言2 移住定住事業の充実を

空き家バンクの登録物件に市街地の物件が少ないという、開設当初からの課題が依然解消できていない。先進地の事例を参考に踏み込んだ施策展開を求める。



移住定住ガイドブック

提言3 職員の労働環境改善を

業務量の増大等の影響により、健康を害する職員が増加している。組織・機構の抜本的な見直しや業務の効率化に努められたい。



東伊豆町役場の様子

財政運営を

除く11名の議員で構成する決算審査特別委員会に付託し、9月9日から9月25日までの

提言4 真に観光振興に役立つ施設整備を

施設整備は目標設定、利活用と維持管理の具体計画を立案し、観光振興に役立つ整備を図ること。また老朽化した施設は、廃止を含めた利活用方法の再検討を行うこと。



利用者がまばらなテラス・デッキ

提言6 災害情報端末の普及推進を

町民の命を守る取り組みの第一歩は災害情報の伝達にある。風雨の影響を受けないコスモキャストや補助金で整備しているテレビプッシュ等、情報端末の普及が進んでいない現状を踏まえた抜本的な強化を求める。



災害情報がテレビで受け取れる
テレビプッシュ

提言5 ファミリーサポートセンター事業の見直しを

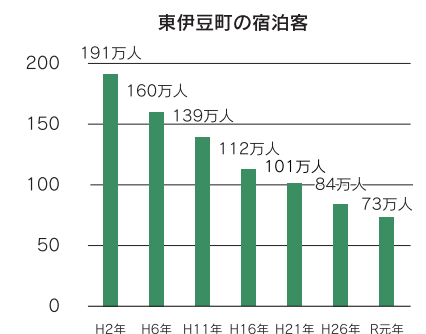
ファミリーサポートセンター事業では、登録者が44名ありながら利用件数ゼロが続いている。保護者等の声を聞き事業の改善や見直しを進められたい。



会員を募集するファミリーサポート
センター事業のチラシ

提言7 観光振興事業の再検討を

これまで多額の費用を投入してきたが、結果として観光客の減少には歯止めがからず、今なお多くの課題が残されている。観光客のニーズの変化に対応できる誘客宣伝や街づくりの在り方を見直すこと。



宿泊客の減少が止まらない

決算審査 特別委員会

事業の効果検証を重視し審議

決算審査特別委員会では審議を通して多様な質疑がありましたので、ピックアップしご紹介いたします。

財政全般

Q 実質単年度収支はマイナスであるが評価は。

A 制度上の問題でマイナスが算出されてしまうが、基金は枯渇していない。ただし今後は取崩しの必要性がこれまで以上に高まるため、基金の積み増しを強く意識していく。

人員体制

Q 新規の職員採用が10人、退職者が5人だが、業務の増大で多くなったのか。

A 3月末退職の職員が11人、4月1日付で10人を新規採用した。いずれも定員適正化計画に基づき実施している。

職員一人一アイデア

Q 職員一人一アイデアで実現した提案は。

A 120のアイデアが出された。そのうち、伝票のペーパーレス化、お茶くみの廃止、課長の専決を10万円から30万円に見直し、職員の人事意向調査、庁内経営会議などを実施した。

ふるさと納税

Q ふるさと納税ポータルサイトに楽天を追加したが実績と効果は。

A ふるさとチョイス約84%、楽天12%、その他4%となっている。今後はホームページの告知方法等を検討していく。

空き家バンク

Q 空き家バンクについて問い合わせを含めた実績は。

A 登録の問い合わせ30件、登録13件。利用の問い合わせは14件で成約4件。町中の物件の希望が多く、掘り起しが必要と感じている。

お試し居住

Q お試し居住体験施設の利用者はあるが、移住に繋がっていないのでは。

A 移住者数は昨年1組3人、一昨年1組1人で移住には繋がっていない。空き家等の掘り起こしが従前からの課題として残る。



お試し居住を移住に繋げる取り組みを

東伊豆町の財政状況

区 分	金 額	備 考
①歳入総額	5,622,137千円	町に入ってきたお金
②歳出総額	5,309,488千円	町が使ったお金
③歳入歳出差引額	312,649千円	①－②
④繰越明許費繰越額	22,551千円	次年度事業等への繰越額
⑤実質収支額	290,098千円	③－④
⑥実質単年度収支※	△218,641千円	⑤－繰り上げ償還－基金取り崩し額

※資産の増減を除外するため、給料と生活費のつりあいでは家計の状況を見ることが近い

放課後児童クラブ

Q 放課後児童クラブの利用者数は、コロナの影響で減少しているのか。

A コロナ前は、稲取24名、熱川15名程度であったが、コロナ後（3月末）は稲取13名、熱川4名程度に減少している。

ファミリーサポートセンター事業

Q ファミリーサポートセンター事業の依頼会員は44名となっているが、実際の利用者は。

A 利用者はゼロとなっている。

筋力アップ事業

Q 筋力アップ事業の現在の参加人数と広報は。

A 過去の業者との委託契約によるプログラムで現在は契約が終了したため、著作権の関係上、当時の受講者以外の方は利用できない。そのため、現在、20名程度がサークル活動として行っているが、募集はかけていない。

健康マイレージ事業

Q 健康マイレージ事業の成果と今後は。

A 社会参画・地域貢献と、健康にもつながる効果がある。またお店で使えるポイントが貯まるお得感も得ることができる。今後も情報発信していく。

けやき公園きぼうの館

Q けやき公園きぼうの館の利用状況は。

A 年間1件で利用料千円。その他は奈良本女性の会が数回利用している。



利用度の低いきぼうの館

市民農園

Q 市民農園の使用料免除の団体は。

A ふるさと学級5区画、健康づくり課2区画となっている。免除団体については今後、協議・検討していく。

観光施設

Q 役場前海側ウッドデッキとベンチを設置したことによる効果は。

A 利用者は土日にも多少いるが、平日はまばらである。

災害情報端末

Q テレビプッシュの加入数とコスモキャストの登録数は。

A テレビプッシュが61件でコスモキャストが約740件である。

テレビプッシュ

テレビで町の災害情報が受け取れるシステム
コスモキャスト
スマートフォンで町の災害情報が受け取れるシステム



老朽化が進む給食センター

給食センター

Q 学校給食費の補正予算106万1千円の減と予備費145万4千円の内容は。

A 補正予算の減は雇人1名分の減額で、予備費は給食設備などの故障等で緊急時に対応したものである。

8月11日 第4回臨時会 一般会計補正予算を否決 シェアオフィス施設改修に見直しを

8月11日に開催した臨時会において、上程された一般会計補正予算は賛成者少数で否決されました。これは、新型コロナウイルス対応臨時交付金を活用した旧東海汽船事務所跡のシェアオフィス改修工事費2420万円は、事業の実績や目標が明確でなく、工事内容の変更を求める声が多く否決となったものです。また商工会が行うクラウドファンディング事業への補助金は、事業の計画性や企画書が必要だとの意見も出されました。



シェアオフィス（旧東海汽船事務所）の1階トイレ改修の意見も

たものです。

8月11日と19日に行われた第4回、第5回臨時会において専決処分（条例改正）2件、工事請負契約2件、補正予算2件を審議しました。

8月19日 第5回臨時会 一般会計補正予算を可決 コロナ経済対策に8千万円

史上最大50%プレミアム付
地域商品券 8,000万円販売!!
9/28からご予約受付開始!
9/30から先行販売開始!
東伊豆町商工会・東伊豆町サービス店

プレミアム付地域商品券のチラシ

8月19日臨時会が開催され、商工会のプレミアム商品券事業補助金などコロナウイルス経済対策事業に8千万円、テントなど避難・災害対策備品購入の総合防災対策費4671万円を骨子とする1億5725万円を追加する補正予算を可決しました。

9月定例会の議案と各議員の賛否

○賛成×反対
※議長は採決に加わらない

議案	採決結果 (賛成：反対)	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐衛	村木脩	内山慎一	藤井廣明	鈴木勉	定井利子	山田直志
議案第50号～51号	可決 (11：0)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第52号	可決 (10：1)	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○
発議第4号	可決 (10：1)	○	○	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○
議案第53号	可決 (11：0)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第54号～55号	可決 (10：1)	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○
議案第56号～59号	可決 (11：0)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第60号～67号	可決 (11：0)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
議案第68号	可決 (11：0)	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○
意見書案第3号	可決 (10：1)	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○
意見書案第4号	可決 (10：1)	○	○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○

議案第50号 手数料徴収条例の一部を改正する条例

関連法令の改正により条文の整備を図るもの

議案第51号 情報公開条例の一部を改正する条例

情報公開の開示請求費用負担の見直しをするもの

議案第52号 東伊豆町の特定事務を取り扱う郵便局の指定

町の特定の事務取扱に熱川郵便局を指定するもの

P 3参照

発議第4号 「議案第52号東伊豆町の特定の事務を取り扱う郵便局の指定」に対する附帯決議

P 3参照

議案第53号 令和2年度一般会計補正予算

シェアオフィス改修工事、旧大川小学校屋上防水工事、風力発電事業特別会計繰り出し金等を実施するため増額補正を行うもの（7,951万円増）

議案第54号 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算

令和元年度決算余剰金の繰り越しを行うもの（2,500万円増）

議案第55号 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算

令和元年度決算余剰金の繰り越しを行うもの（98万円増）

議案第56号 令和2年度介護保険特別会計補正予算

令和元年度決算余剰金の繰り越しを行うもの（4,207万円増）

議案第57号 令和2年度風力発電事業特別会計補正予算

風車1号基の故障により売電収入が大幅に減少する見込みのため、一般会計から財源不足分を繰り入れるもの（44万円増）

議案第58号 令和2年度下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計補正予算

令和元年度繰越額確定による増額及び新型コロナウイルス感染症予防対策として消耗品を購入するもの（227万円増）

議案第59号 令和2年度水道会計補正予算

災害復旧費の増額等によるもの（465万円増）

議案第60号 令和元年度一般会計歳入歳出決算認定

議案第61号 令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

議案第62号 令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

議案第63号 令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定

議案第64号 令和元年度稲取財産区特別会計歳入歳出決算認定

議案第65号 令和元年度風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定

議案第66号 令和元年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計歳入歳出決算認定

議案第67号 令和元年度水道事業会計決算認定

※議案第60号～67号はP 2～P 7を参照

議案第68号 財産の取得

新型コロナウイルス対策としてワンタッチパーテーション購入

意見書案第3号 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実することなどを国へ要望するもの

意見書案第4号 「森の力再生事業」の継続と「森林（もり）づくり県民税」の課税期間の延長に関する意見書

「森の力再生事業」の継続と事業推進のため「森林（もり）づくり県民税」の課税期間の延長を県へ要望するもの



意見書



まさ ひと 笠井 政明 議員

Q 予防対策、教職員の負担軽減は

A 支援員等の時間調整で対応している

Q 教職員の負担が増えている。町として何か対策を考えているか。

A 文部科学省からの新型コロナウイルス感染症対策の様々な通知をもとに「教育活動の参加に関するガイドライン」を作成し感染予防策を示し、対応している。



先生達が放課後に消毒作業等を行なっている

Q 幼稚園、小中学校にコロナウイルス感染症対策はどのように行われているか。

A 通常業務に加え、消毒作業等の業務を行っていることで、負担は増えている。そのため、各学校の支援員や事務員の勤務時間を調整すること、スクール・サポート・スタッフの勤務時間を増やしていたなどなどの対応をしている。

Q 教職員が行っている消毒清掃作業をボランティアで対応している自治体もあるが。

A ボランティアも考えたが当町では受入れの負担もあり行っていない。

Q 作業をシルバー人材センターへ委託する考えは。

A シルバー人材センターのスタッフが高齢なので受けるかわからないが検討する。



くり はら 栗原 京子 議員

Q 感染症対策の買い物代行支援は

A 町としてできることはやっていきたい

Q コロナ感染疑いの方や、その同居家族の日用品や食料等の買い物代行サービスの考え方は。

A 保健所と本人のやりとりの中で要望があれば対応したい。

Q 委員会の生徒保護者へのアンケートで、休校措置の間に日中子どもだけで過ごす事に不安を感じるという声があったが。

A 小学校6年生までは兄弟の有無に関わらず



買い物代行で療養中も安心

ず8時～18時まで放課後児童クラブで受け入れられる。

Q 災害時に備え、看護師などの人材確保は。

A 重要と考えるが応募がない。引き続き人材確保に努める。

Q 災害時、助産師が避難所を巡回して妊産婦や乳幼児の心身のケアをしていたらどうか。

A 県助産師会と協定を締結してはどうか。ぜひ進めていきたい。

Q 災害に備える道路の整備推進は

A 関係機関と協議や要望を行っていく

Q 伊豆縦貫道のアクセス道路の要望は。

A 当町への直接的な接続は計画されていないが、「伊豆縦貫自動車道天城峠道路建設促進期成同盟会」等の関係機関と検討していく。

Q 町道湯ヶ岡赤川線を活用した、伊東市への接続道路整備の取り組みは。

A 「伊豆横断道路建設促進期成同盟会」を結成し要望を行ってきたが、関係市町の理解も得なければならぬ。町長は現在、全国村会副会長、県町村会長の要職にあり、県の関係者に要望すべきだが。



災害道路として期待が高まる湯ヶ岡赤川線

A 機会あるたびに、国・県議員をはじめ関係機関等にも要望を行ってきた。

Q 通行止めが多数発生した場合、陸の孤島化対策として海上脱出の方法は。

A 漁協や東海汽船を含め、関係機関と協定を結んでおり、必要な場合は要請して対応する。

Q 宿泊業への誘客支援が急務では

A 早急に町の観光協会を通して行う



ガソリン券の発行も

Q 宿泊業への支援策とその効果予測は。

A 即効性の高いネット予約を対象に、宿泊クーポン地域商品券、ガソリン券を発行し9月末までに予算額1500万円、8千万円の経済効果を見込んでいる。

Q ひっ迫している観光協会への運営費の助成は。

A 10月から来年3月

までの期間にネット予約や女子、高齢者層を対象にした企画。予算額2700万円、1億6千万円の効果を想定している。観光協会への運営費は今回の補正予算に計上した。

Q 県が実施している近隣県への誘客と併せて町の独自企画は。

A 県の企画は終了したが、あまり効果はなかった。町単独で団体バスの補助や姉妹都市の岡谷市との宿泊ツアーを計画している。



くす やま 楠山 せつ お 節雄 議員



うち やま 内山 しん いち 慎一 議員



やま だ 山田
な お し 直志 議員

Q 水道料の値上げを抑える取り組みを

A 町民に負担をかけないよう運営したい

Q 老朽化に対する資金が必要な中、感染症の影響で2千万円の減収、約7千万円の資金減が生まれているが、水道料金の値上げへの方向性は。

A 2～3年のうちの値上げは厳しいと考える。

Q 一般会計、臨時交付金の活用は。

A 水道は独立採算を原則としている。また臨時交付金は、感染症や経済対策が中心で、



水道は最も大切な事業

Q 特別会計への活用としては病院会計が想定されている。

A 多額が必要となる水道ビジョンの見直しや総務省の人材活用を検討していきたい。

Q 国には水道関係の補助制度があるが、地方の町村では利用できない。地方代表として改善を。

A 調べて対応したい。

Q 全国では活用されている一般財源の活用にも町も取り組み町民と経済を守るべきだ。

A 様々な取り組みがあれば活用も考えたい。



いな ぼ 稲葉
よ し ひ と 義仁 議員

Q 小中一貫校開校までの目途は

A 遅れる可能性はあるがしっかり進めたい

Q コロナ感染症の影響で進捗はどうなったか。

A 説明会開催の前提となるたたき台は作成途中であり、人を集められない状況の中、説明会実施の目途も立っていない。

Q 近隣市町では時期を明確化し進んでいるが。

A 当町の方向性は決定したものの、意見の集約ができていないため、時期を明確にする段階ではないと考えている。

Q 人を集めなくても意見聞く方法はあるのでは。



東伊豆町の
小中学校

A まずは直接顔をあわせてと考えていたが、ご指摘の方法も検討したい。

Q たたき台となる資料の作成や説明会については目標となる時期を明確にして進んでいくべきでは。

A 説明会の年内開催は難しいが、ネットでの意見聴取等については10～11月くらいには可能とも考えている。

Q 小中一貫校の検討と並行し、稲取・熱川の学校間交流も具体化に向け早急に検討すべき。その事自体が将来の当町の強みになると考える。

A 学校間交流に関するこれまでの事例やオンライン端末の活用とあわせ、具体的に検討していきたい。



すず き 鈴木
つ と む 勉 議員

Q 災害時の迂回路の案内表示を

A 下田土木事務所と連携の上、設置したい



稲取保育園下に案内看板を

Q 活発な梅雨前線による豪雨で二度に渡り国道の稲取白田間が通行止めになり、周辺の住民に多大な迷惑があった。稲取側は唐沢信号より住宅地内を迂回路として誘導していた。また、白田側は旧森恒病院前からの狭い道路を通行していたが、迂回路は町が決めるのか。

A 下田土木事務所が

Q 新白田トンネルの照明が暗いとの苦情が多い。

A 全基を点灯しているが照度の確保が厳しいので、対応を検討したい。

Q 迂回路は急坂で道幅も狭く危険度が高い。速度や大型車の規制は。

A 速度の注意喚起はしたい。大型車輛は道路情報システムを利用し通行止めの対応をした。

Q 公共施設の方向性を

A 現状に見合った能力に



老朽化した
し尿処理施設

Q 東河環境センターの運営は。

A 昨年度まで3年間にかけ基幹的設備改良工事とし、施設の延命化を図った。また令和3年度より地方債の償還が開始となるので、現在、ゴミ処理の有料化について検討を行っている。

Q し尿処理施設は。

A 施設の老朽化への対応は不可欠であり、令和4・5年度で改修工事を行う予定となっている。

Q 水道施設は。

A コロナ禍により大幅な減収となり、事業の執行を停止したが、先送りは根本的な解決にはならないため現状に見合った能力に変えて経費をおさえない。

Q 小中一貫校の見直しは。

A 現段階で見直すことは考えていない。今の教育では1クラス40人に1人の先生がつく。生徒が7人になっても先生がいるので、生徒への勉強がよく見られるから良いのではないかと。

Q アンケートをとって生徒の声を聞いているか。

A とっていないが、保護者・地域への説明と意見聴取、教職員への研修を行い、地域と一体になった学校が望ましい。



にし づ か 西塚
た か お 孝男 議員

～住民の声を政策に～ コロナ禍によ

る影響調査を実施

現在、コロナ禍により私たちの生活は深刻な影響を受け、いまだ収束の見通
そこで、東伊豆町議会では、この未曾有の危機を乗り切りのために、まずは
食事業者への対面による聞き取り調査と、文教厚生常任委員会による小中学校

しは立っておりません。
地域住民の声を聴くことが重要と考え、総務経済常任委員会によるホテルや飲
の保護者へのオンラインアンケートを実施しました。

STEP 1 住民の声を聴く ⑤ 事業所からの聞き取り調査

保護者からのアンケート調査

〔アンケート概要〕

- ・対象 : 稲取、熱川の小中学校の保護者
- ・内容 : 休校期間中の過ごし方について
(選択式10問 自由記述9問)
- ・期間 : 配布開始(7月末～8月8日)
- ・結果 : 回答総数262件 自由記述95件

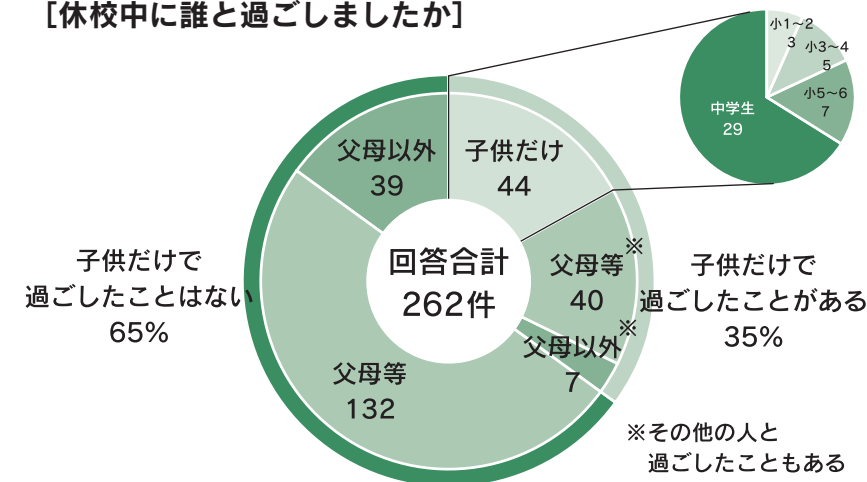


概要はコチラ

〔自由記述回答(抜粋)〕

- (休校の時期について)
- 近くで感染者が出ていなかったので準備期間があってもよかったのではないかな。
 - もう少し町の状況で判断しても良かったのでは。
- (休校中の課題について)
- わからないところや習っていないところの課題に苦労した。
 - 教え方についてフォローが欲しかった。
- (オンライン授業への意見)
- 家族以外の目がある方がやる気に繋がるし、生活のリズムもつけやすい。
 - 家でこの時間勉強すると決めてもどうしてもサボってしまいがちです。
- (休校中に困ったこと)
- 両親共に働いているため、子供たちだけで夕方まで留守番(昼食等も)となりとても心配でした。
 - 自主学習には限界があり、いつ学校が再開できるのか、再開してから授業はどうなるのか不安があった。

〔休校中に誰と過ごしましたか〕



- 35%は休校中に子供だけで過ごさせたことがあると回答。
- 休校中を通して子供だけで過ごしていた家庭(44件)の半数以上(29件)は中学生で、小学生の家庭は15件。



STEP 2 町へ届ける

皆さんからいただいた意見を報告書にまとめ、議会改革特別委員会で確認の上、町当局に報告を行いました。



今後は…

STEP 3 話し合い・提言する

アンケートや聞き取り調査を通じ得られたことについて議会全体で話し合うとともに、早稲田大学マニフェスト研究所など外部からの視点での課題提起も踏まえながら、町への提言に繋げていきます。
このような調査は今後も継続し実施していきたいと考えています。

かがやく まちのひと

Vol.3



細野高原ネイチャーガイドクラブ

とみなが まさひろ
富永 真弘 さん

10月14日から始まる細野高原秋のイベント・自然保護観察会で、毎年ガイドとして活躍されている細野高原ネイチャーガイドクラブの富永さんに細野高原について聞いてみました。



細野高原を案内する富永さん

―細野高原の魅力は

空が開け、海を見下ろせる開放感のある空間であること。ススキの原だけでなく、天気の日には伊豆諸島、房総半島、三浦半島を見ることができ、また背後には天城連山の山並みを一望できることです。

―お客さんとはどんな話を

三筋山駐車場で案内することが多いですが、来られた方からは気持ち良いところだという声が多いです。

―最近の細野高原はどう

番です。「遊歩道が傷んでいる」などと言われる方もおられますが、満足して帰っていかれる方がほとんどです。「どうして広大なススキの原があるのですか」とよく聞かれます。「ここは昔からの茅場だったのです。」とお答えしています。

―茅場とは

茅場というのは茅葺の屋根の茅(ススキなどの総称)を育て、収穫する場所です。昔は屋根に葺いたり、堆肥を作ったり、牛馬の餌にしたり多くの用途がありました。今は昔のような需要はないのですが、ミカン畑に敷いたりする用途があるため、毎年山焼きをしてススキの原を維持しています。毎年焼いているために木が育つことがないのです。この話をお客様にするとすごく納得してもらえます。

茅場というのは茅葺の屋根の茅(ススキなどの総称)を育て、収穫する場所です。昔は屋根に葺いたり、堆肥を作ったり、牛馬の餌にしたり多くの用途がありました。今は昔のような需要はないのですが、ミカン畑に敷いたりする用途があるため、毎年山焼きをしてススキの原を維持しています。毎年焼いているために木が育つことがないのです。この話をお客様にするとすごく納得してもらえます。

―細野高原の今後は

茅場というのは茅葺の屋根の茅(ススキなどの総称)を育て、収穫する場所です。昔は屋根に葺いたり、堆肥を作ったり、牛馬の餌にしたり多くの用途がありました。今は昔のような需要はないのですが、ミカン畑に敷いたりする用途があるため、毎年山焼きをしてススキの原を維持しています。毎年焼いているために木が育つことがないのです。この話をお客様にするとすごく納得してもらえます。

編集後記

今、世界中がコロナウイルスにより大変な事態になっています。テレビでは総理大臣や東京都知事が連立して報道している中、私はひとつの詩をみました。

「天耳」

「啼く鳥の声に慣れたわたしの耳は、音もたえずに哭く人たちの声にならない声を聞き取れているだろうか」

波の動きで海を確かめるわたしの目は、誰もいない場所でのひとりひざをかかえ呻く者たちの姿を見過ごさずにいるのだろうか」

人の上に立つ者は、自分の周りでなく、すべての者に気を配り、政策をしなければならぬと思う。

(西塚)

議会広報編集委員会

委員長	藤井廣明
副委員長	笠井政明
委員	稲葉義仁
委員	西塚孝男
委員	村木 脩
委員	山田直志